

平成28年度 広島県合同輸血療法研修会

輸血前後の感染症検査 ～輸血手帳ひろしまの活用事例～

荒木脳神経外科病院 臨床検査科
尾茂 麻衣子

はじめに

平成27年度広島県合同輸血療法研修会にて、「輸血手帳ひろしま」を作成したという報告があった。

当院では平成28年4月1日より、「輸血手帳ひろしま」を導入し、活用しているため、運用方法や活用事例を報告する。

当院の紹介

- 病床数：110床(急性期68床、回復期42床)
- 診療科
脳神経外科 脳神経内科 循環器内科 形成外科
消化器内科 リハビリテーション科 外科
- その他
輸血管理料Ⅱ算定
平成27年4月 I&A取得



当院の輸血件数

	2016年	2015年	2014年
赤血球製剤 (廃棄率)	105単位 (19.6%)	110単位 (19.0%)	81単位 (11.1%)
血小板製剤	30単位	10単位	50単位
新鮮凍結血漿	22単位	20単位	0単位
自己血貯血	0単位	8単位	4単位

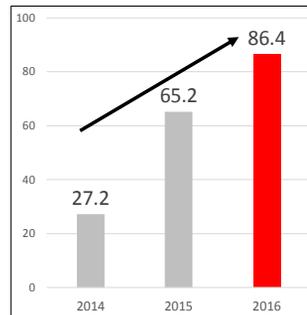
輸血前後の感染症検査の取り組み

2013年12月より輸血後感染症検査の取り組みを開始

- ①輸血後に技師から「輸血を受けた患者さんへ」という書類を説明し配布。
- ②輸血後2.5ヶ月を目安に、「輸血後感染症検査のご案内」を郵送。



輸血後感染症フォロー率



フォロー率は
3倍増

輸血手帳導入までの流れ

平成27年度広島県合同輸血療法研修会参加
 ↓
 翌月の輸血療法委員会にて輸血手帳の導入を提案
 ↓
 輸血療法委員会ニュースにて周知
 ↓
 4月より輸血手帳の配布を開始



検査室でのルール① ～記載・転記ミスの防止～

クロスマッチをした技師が記入

配布前に別の技師がカルテと照合し確認

お名前記入欄
 荒木 太郎

あなたの基本情報
 血液型: B 型 Rh (+)
 平素の抗体: () 有
 *有の薬物は、
 輸血日 () 種類
 輸血中のシールが一部 () 有
 *有の薬物は、
 輸血日 ()
 原因となった薬剤 ()

*内容は、輸血を受けた患者情報で記入して
 転記して下さい。

この手帳について、
 ご不明な点がございましたら、
 下記までご連絡ください。
 血調室 検査科

広島県赤十字血液センター 学術・品質管理課
 電話:082(2)41-1290 FAX:082(2)504-5476



検査室でのルール②

クロスマッチ担当者 確認・説明技師

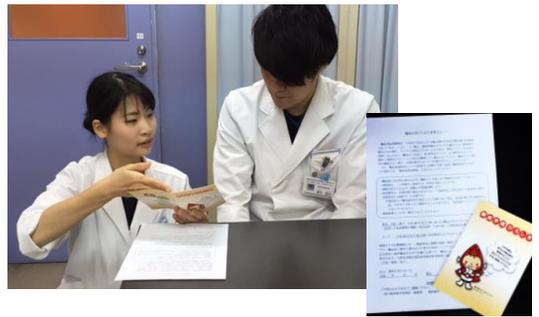
輸血施行医療機関 + 20ページを使用すれば空欄可
 名称: 広島赤十字血液センター (2017年1月より日手渡し)
 連絡先: 担当技師 (丸山 健子)
 電話番号: 082-272-1114
 *最終輸血施行日: 2016年12月27日
 製剤種: S-RBC-LR Lot: J26A-S-0105

輸血施行医療機関 + 20ページを使用すれば空欄可
 名称: 担当技師
 電話番号

輸血施行日	輸血製剤 (シール添付でもよい)
2016/12/28	製剤種: S-RBC-LR3 Lot: B043-0528-8826
2016/12/28	製剤種: S-RBC-LR3 Lot: B045-1527-3828
/ /	製剤種: Lot:

シールを貼る場合は、
 剥がれても良いように、
 ボールペンで書いた上に
 貼るようにする

職員教育



患者さんの反応

お薬手帳と同じで、輸血に特化した手帳です。お薬手帳と一緒に管理してください。

お薬手帳と一緒に持っていれば、いいなら管理が簡単だね。便利な手帳ができてよかった。

どの病院でも共通です。

共通なら、いちいち説明しなくてもいいね。



実際に活用していただいた1例

当院で輸血施行、説明と輸血手帳の配布を実施

↓
 2ヶ月半後、受付に輸血手帳を提出し、「感染症の検査を受けに来た」と申し出る

↓
 感染症フォロー実施

案内の用紙はいろんな書類と一緒に捨ててしまったため、フォローの日にちがわからなくなってしまったが、輸血手帳をお薬手帳と一緒に管理していることを思い出し、日付を見て受診された

今後の課題①

- 輸血手帳を導入していない施設が多い
⇒実際に他院で輸血を受けた患者さんが転院してきた際、独自の用紙は持ってきて、「輸血手帳はもっていない」と言われる
- 認識不足
⇒当院でも、知らないスタッフもたくさんいるため、もっと広報し周知する必要がある

今後の課題②

輸血手帳自体の改良が必要

- ⇒技師・実際使用した患者さんの意見として
- ページ数が少ない
- 複数の施設で共有するものなので、ロットを記載するページにどこの病院で使用した製剤なのか一目でわかるようにしてほしい
- 輸血後感染症検査をフォローする日を記載できるようにしてほしい
- 基本情報に検査日を記載できるようにしてほしい

輸血発行日	輸血製剤 (コール割付でもよい)
2018/10/18	製剤名: 20-400-1A Lot: 20-400-1020-0020

病院名・フォロー日の記載スペースを

あなたの基本情報

血液型: A B O Rh (+)

アレルギー: 無 有

*私の血液は、
輸血でのアレルギー歴: 有

*私の血液は、
検査済み: 有

関係の付いた製剤 ()

検査日

まとめ

- お薬手帳を例に挙げ説明することで、患者の理解が得られ、活用されやすい
- 輸血手帳は患者本人だけでなく、患者家族にとっても輸血状況を把握することのできる便利なツールである
- 認識不足、未導入の施設もあるため、浸透させる必要がある
- 使用していると、不便な点も出てきたため、今後の改良が望まれる
- 患者情報を扱うものなので、確認は入念に行う